

Normeca Asia News! 第2弾

2010年7月日本防災士会栃木県支部へリフトテントを寄贈。

「日本工業経済新聞」に掲載され感謝状も頂きました。

日本工業経済新聞

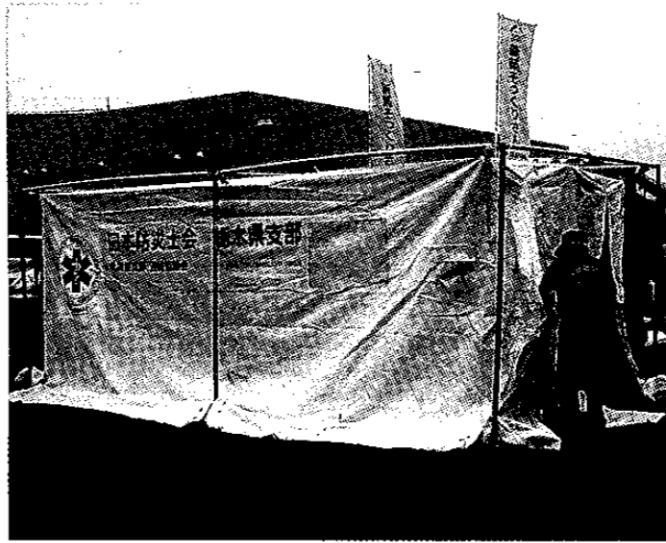
速報栃木版

防災士会 栃木支部

日本防災士会栃木支部(富澤廣三支部長)はこのほど、同支部の林洋克幹事が営業部第2部長として勤務する、(株)ノルメカエイシア(東京都台東区、千田良代表取締役社長兼CEO)から、災害時の救急医療基地として活用するため、フランス製高性能テントの寄贈を受けた。

これに対し、富澤支部長が先月26日に同社を訪問。福田芳郎取締役営業本部長及び林部長に感謝状と記念品を手渡し、深い感謝の意を伝えた。

今回の寄贈について、千



フランスUTILIS社製の高性能テント

高性能テントの寄贈受ける

災害時救急
医療基地に

田ノルメカエイシア社長は「世界の大きな地震の12%は日本で起きている。災害対策(リスクマネジメント)に、有効に活用させてもら

と被害対策(コンシキエンスマネジメント)は、個人自ら備えるのが基本。特に防災士の皆さんには、発災後の活動に大きな期待がかかっている。災害時には、普段している事でもできない場合がある。ましてや普段していない事は絶対に行えない。今後も研修訓練を通じて啓蒙活動をお願いしたい」とコメント。

寄贈を受けた富澤支部長は「同社に衷心より感謝するとともに、感激している。今後は活動拠点としていたい」と語った。

寄贈されたテントは、フランスUTILIS社製の野戦病院用。幅2・7m、奥行き5・4mで、重量は60kg。天幕、床材が一体構造となった、フレームに吊り上げるリフト式テントで、耐風性、耐雨性、耐雪性に優れている。

なお、同支部では先月21日に開かれた県防災館ふれあいデー(宇都宮市中里)で、防災士のPR活動や土壌液化化現象の実験などと併せ、寄贈された高性能テントを初披露。多くの来場者の注目を集めたほか、今月18日に開催される群馬県の総合防災訓練でも同県支部(丸尾成人支部長)が活用する予定。

2010年9月2日(木曜日)